

研修名	2)多施設合同研修
開催日時	令和5年4月14日(金)～7月29日(土)のうち14日間
受講者数	延べ828名(会員47名、非会員781名) 実人数169名(助産師2名、看護師151名、准看護師16名)
目的	新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を補完するために、基礎的知識・技術、態度を習得し、先輩看護師の支援のもとに職場に適応して就業が続けられることに役立つ。また、研修を通して、他施設の新人看護職員との交流、意見交換の場とする。
その他	開催日時、受講者数、ねらい、講師、内容については1. 計画書参照

1. 多施設合同研修計画書

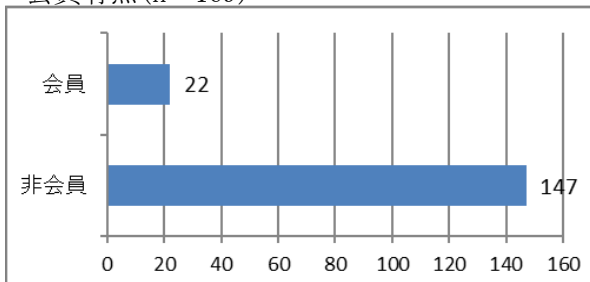
令和5年度多施設合同研修プログラム (実施済)							
テーマ	ねらい	内容	方法	講師名	開催日時	募集数	参加者数
医療安全の基礎知識	ヒューマンエラーの考え方を理解し実践できる	1. 医療安全の基礎知識 2. 組織で取り組む医療安全 3. 医療安全のためのKYT (グループワーク)	講義	伊勢田純子 高知赤十字病院 医療安全管理者	4/14(金) 9:30～ 12:30	80名	99名
魅力ある看護専門職に成長するために	社会人として、専門職業人として成長していくための心構えをもつことができる	1. 看護の動向 2. 専門職業人としての第1歩 3. 看護協会の役割について	講義	藤原房子 高知県看護協会会長	4/14(金) 13:30～ 16:30	80名	104名
感染管理の基礎知識 (1回目)	感染管理の基本的な考え方や実技を学び実践できる	1. 標準予防策と感染経路別予防策 2. 手指衛生と个人防护具について 3. 職業感染防止	講義 + 演習	森田安世 白菊園病院 感染管理認定看護師 アシスタント2名/日 調整中	4/27(木) 9:30～ 16:30	各50名	105名
感染管理の基礎知識 (2回目)					4/28(金) 9:30～ 16:30		
注射・輸液 (1回目)	点滴静脈注射の実施方法と適正な機器の使用方法を学び実施できる	1. 点滴静脈注射の実施手順 2. 点滴静脈注射に使用する輸液ポンプ・シリンジポンプの適正使用と注意事項 3. 点滴静脈注射の実施	講義演習	三谷 卓史 テルセ株式会社 四国支店高知県担当 指導者8名/日 調整中	5/25(木) 9:00～ 17:00	各32名	115名
注射・輸液 (2回目)					5/26(金) 9:00～ 17:00		
注射・輸液 (3回目)					5/27(土) 9:00～ 17:00		
フィジカルアセスメント (1回目)	身体をアセスメントをするための基礎的な知識と技術を学ぶ	1. フィジカルアセスメントとは 2. バイタルサインの意味 3. 呼吸・循環のフィジカルアセスメントに必要な知識 4. フィジカルアセスメントの基本技術 (問診, 視診, 触診, 打診, 聴診)	講義演習	池島真由美 近森病院 急性-重症患者看護 専門看護師 アシスタント2名/日 調整中	6/14(水) 9:30～ 16:30	各30名	128名
フィジカルアセスメント (2回目)					6/15(木) 9:30～ 16:30		
フィジカルアセスメント (3回目)					6/16(金) 9:30～ 16:30		
救急対応 (1回目)	救急看護の知識を理解しエビデンスに基づいた救命技術が実践できる	1. 急変対応に必要なフィジカルアセスメント 2. BLSとAED 3. シナリオによる救急対応の実際	講義演習	大麻康之 (午前) 高知医療センター 救急看護認定看護師 寺尾浩 (午後) 高知赤十字病院 救急看護認定看護師 インストラクター8名/日 調整中	7/12(水) 9:30～ 16:30	各40名	144名
救急対応 (2回目)					7/13(木) 9:30～ 16:30		
救急対応 (3回目)					7/14(金) 9:30～ 16:30		

メンタル ヘルスケア (1回目)	ストレスとうまく付き合い、乗り越えるための対処方法を理解できる	1. リアリティショック 2. メンタルヘルスの基礎知識 3. ストレス対処方法 4. 仕事を楽しく続ける自分を 目指そう 5. 自分を元気に	講義 演習	中井 有里 高知県立大学 精神看護学領域助教	7/28(金) 9:30~ 16:30	各 55名	133名
メンタル ヘルスケア (2回目)					7/29日(土) 9:30~ 16:30		
*対象は免許取得後、初めて就労した1年未満の看護職員です。					募集計	676名	
*「感染管理の基礎知識」・「メンタルヘルスケア」は2回、					参加者	828名	
「注射・輸液」・「フィジカルアセスメント」・「救急対応」は3回、同じ内容です。					達成率	122.5%	
*募集人員を超えた場合、参加人数を調整し看護責任者に連絡させていただきます。							

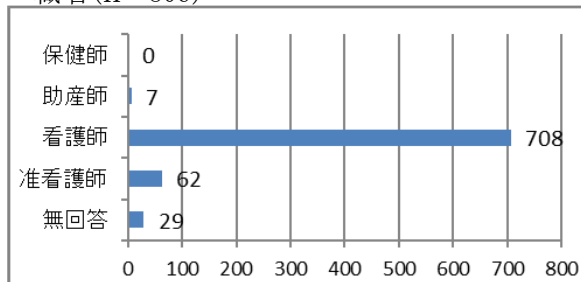
2. アンケート結果

出席者:828名 アンケート回収:806名 アンケート回収率:97.3%

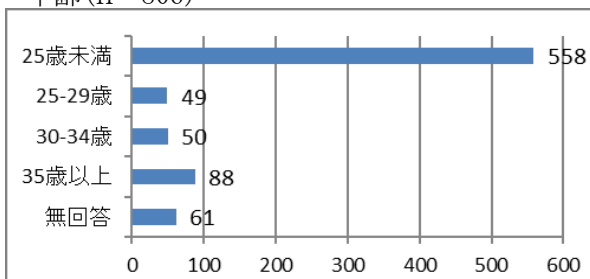
会員有無(n=169)



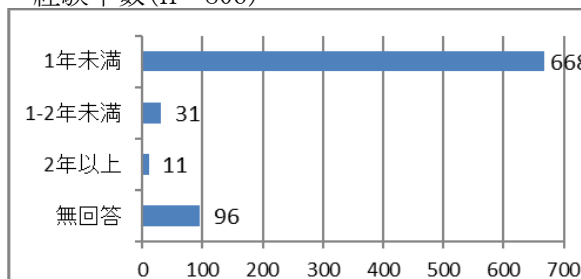
職名(n=806)



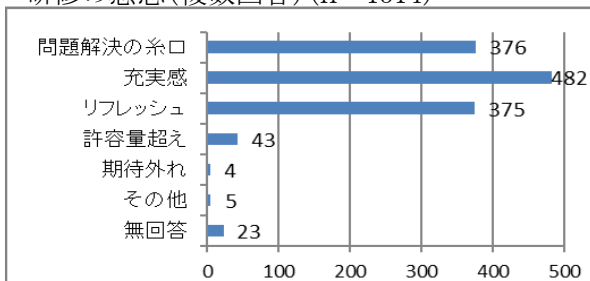
年齢(n=806)



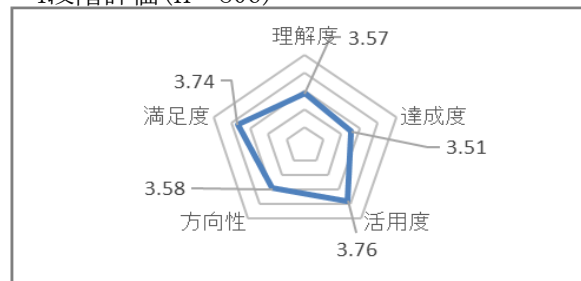
経験年数(n=806)



研修の感想(複数回答)(n=1314)



4段階評価(n=806)



【感想・ご意見】(一部抜粋)

<医療安全>

- 日々の業務の中で起こりえるインシデントについて知ることが結果的に患者の安全を守ることにつながる事が分かった。
- インシデントや危険な事故になるようなことしてしまったことがあった。今回の研修で、人間とはどういう特徴があって、だからこそどういったことに注意して看護業務をしていかなければいけない、ということが分かりやすく納得して話を聞くことができた。
- 自分で気を付けている事でも実際に話を聞いたり、現場に出たりすると意外と周りが見えていないことが多いと感じた。KYTのように例を取り上げることでいろいろなことが見えてきたり、他職種とのコミュニケーションにより新たな視点が見えてきたり、たくさんの考えが得られることが分かった。当病院でもこのような研修を定期的に導入するのも良いと思った。

<魅力ある看護専門職に成長するために>

- 新人ナースとして病院の仕組みや作業を覚えることで頭いっぱいになるが、どの場所に行っても”社会人としてのマナー”は新人の私たちにもすぐに取り組める事なので、この講義をふまえて自身の態度を振り返ってみようと思う。
- 高知県の看護の現状、日々の態度など自分達が頭に入れておかなければいけないことが学べた。これらを活かし日々の業務の質を高めていきたいと思う。
- 魅力ある、理想の看護師になれるように、日々向上心をもって働きたいと思う。

<感染管理>

- 私たちが普段から意識してないような動作でも感染しそうなことが多いと思った。患者さんや他の感染源とならないよう再度自身の行動を見つめ直す機会となった。また頻繁に洗えないもの等は特に気を付けなければいけないなと感じた。
- 清潔、不潔についての意識を高めることができた。
- 環境整備や防護具の選択など、一つ一つ確認した上で確実に正確に実践していきたい。

<注射・輸液>

- ・シリンジポンプ・輸液ポンプの手順について、詳しく学ぶことができた。病棟で活かしたい。
- ・病棟ではあまり時間がなくて、きちんとできていない所もしっかり細かい所まで教われたので良かった。今日言われたことを忘れず再度振り返ってやってみようと思う。
- ・実技もあって良かった。今回のような実技ありの研修を今後もしてもらいたい。
- ・今回のようにグループワークで活動できる研修に参加したい。

<フィジカルアセスメント>

- ・フィジカルアセスメントをしているようで、全然、広い視野で見えてない事がまだまだあるなど改めて実感した。報告する時には簡潔にまとめて伝えないといけないため、文章能力と知識も必要不可欠であり、これからもどんどん書いて慣れていこうと思った。
- ・学生時代の講義を思い出した。今思えば、学生時代に勉強してきたことが無駄ではなかったと、改めて思えた。新人だからこそ基礎を大事にしていくべきだと思った。
- ・現場では、今回の研修のようにじっくり「フィジカルアセスメント」を学ぶことができていなかったのも勉強になった。また、事例を用いたアセスメントやI-SBAR報告も参考になり、現場で活用したいと思う。

<救急対応>

- ・講義内容がとてもわかりやすかった。ワークも段階的でとてもよく理解できた。
- ・インストラクターさんが優しく教えてくださり、楽しく学ぶことができた。
- ・急変時の観察ポイントや医師へ簡潔に報告するポイント、心肺蘇生についてよく分かった。
- ・急変時の初期対応の基本やBLSの技術について学ぶことができ、実際に急変に当たった時に必要な対応がとれると思った。
- ・報告、連絡、相談とたやすく言葉にするが実際すると難しいと感じた。新人の頃は総合して判断することは不可能だと思うので、一つずつ分けて考えて伝えようと思う。

<メンタルヘルスケア>

- ・就職して仕事に慣れ始めたこの時期が1番疲れるので、この研修に来て良かった。
- ・作業に没頭するリフレッシュが楽しかった。
- ・自分が気付いていないうちに色々なストレスを抱えていることが分かった。自分のストレスコーピングの特性が理解できたため、それに順じたストレス対処法をしていきたいと感じた。
- ・グループワークの時間もあって知らない人達と話し、同じ悩みを抱えていて自分一人だけが悩んで壁にぶつかってるのではないと思えた。
- ・メンタルヘルスケア、コーピングを自身の課題として考える事は、業務を円滑に進める上でなくてはならないと感じた。精神科病棟に勤めているので、患者も自身も心身のケアをできる技術を身につけたい。

3. 担当者コメント

7研修全て募集人員を超えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も感染対策の遵守に配慮しながら、できるだけ多くの新人看護職の方の参加ができるような演習を工夫したことで、「他の医療機関の人達と情報交換が行えた」「分かりやすく、楽しく学べた」「今後活かしたい」などの感想が全研修共通にみられ、高達成率に繋がったと考えられる。

引き続き、一人でも多くの新人看護職の方が参加し楽しく学べる研修を企画していきたい。